

PRESS RELEASE

2025 年 6 月 4 日
株式会社 ispace**ispace、ミッション 2 の月面着陸予定時間を午前 4 時 17 分（日本時間）に更新！***RESILIENCE ランダーは月高度約 100km の円軌道を周回中*

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード [9348](#)）は Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”（以下ミッション 2）の着陸予定時間が 2025 年 6 月 6 日（金）午前 4 時 24 分から、7 分早まり、同日、午前 4 時 17 分（日本時間）に更新されたことを発表しました。

■ （更新後）着陸予定日時および着陸予定地点着陸予定日時： 2025 年 6 月 6 日（金）午前 4 時 17 分（日本時間）*¹

着陸予定地点： Mare Frigoris（氷の海）の中央付近（北緯 60.5 度、西経 4.6 度）

*¹：上記日時は運用状況に応じて変更される可能性があります。

ispace のエンジニアは、東京・日本橋にある HAKUTO-R ミッション・コントロール・センター（管制室）から 5 月 28 日にミッション運用計画に沿って軌道制御マヌーバを開始し、ミッション 2 の中で最も長い約 10 分間の主推進系の燃焼を予定通りに実施し、円軌道への投入を完了させました。その後軌道やランダー速度等の精査を行った結果、着陸予定時刻の更新が決定されました。

■ Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON” 着陸応援会 ライブ配信

ispace は、日本、米国、ルクセンブルクの全拠点の従業員や家族、その他関係者の皆さまと共に、日本時間 2025 年 6 月 6 日（金）午前 4 時 17 分に予定しているミッション 2 の月面着陸を見守ります。その様子は、公式 YouTube にて午前 3 時 10 分からリアルタイムで配信する予定です。成功すれば、日本初、アジア初となる民間月面着陸を、ぜひ一緒に見届けましょう。

HAKUTO-R チャンネル（日本語）：<https://ispace-inc.com/chakuriku>ispace チャンネル（英語）：<https://ispace-inc.com/landing>**■ 株式会社 ispace（<https://ispace-inc.com/jpn/>）について**

「Expand our planet. Expand our future. ～人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ～」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動し、現在約 300 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のラ

ランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022 年 12 月 11 日には SpaceX の Falcon 9 を使用し、同社初となるミッション 1 のランダーの打ち上げを完了。続くミッション 2 は 2025 年 1 月 15 日に打ち上げを完了し、最短 2025 年 6 月 6 日に、月面着陸へ再挑戦の予定。ミッション 3（正式名称：Team Draper Commercial Mission 1）およびミッション 4（旧ミッション 6）は 2027 年に¹打ち上げを行う予定。

ミッション 1 の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション 1 マイルストーンの 10 段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション 1 で得られたデータやノウハウは、後続するミッション 2 へフィードバックされている。更にミッション 3 では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によって NASA が行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

■ HAKUTO-R (<https://ispace-inc.com/jpn/m2>)について

HAKUTO-R は、ispace が行うミッション 1 およびミッション 2 を総称する、民間月面探査プログラム。独自のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査車）を開発して、月面着陸と月面探査の 2 回のミッションを行う。SpaceX の Falcon 9 を使用し、2022 年にミッション 1（月面着陸ミッション）のランダーの打ち上げを完了。2025 年 1 月 15 日にミッション 2（月面探査ミッション）の打ち上げを完了し、最短 2025 年 6 月 6 日に、月面着陸へ再挑戦の予定。

オフィシャルパートナーである株式会社三井住友銀行により命名された Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”には、新たな始まりやチャンスの意が込められている。

HAKUTO-R はオフィシャルパートナーとして株式会社三井住友銀行、コーポレートパートナーとして、日本航空株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、日本特殊陶業株式会社、シチズン時計株式会社、スズキ株式会社、高砂熱学工業株式会社、SMBC 日興証券株式会社、S k y 株式会社、Epiroc AB、株式会社ジンズ、栗田工業株式会社が参加している。

¹ 2025 年 6 月時点の想定